

ナンバリング	A①04	科目名	体育(理論)
担当形態	単独	担当教員	粕谷 礼乃
ディプロマポリシーとの関連性	①, ②		
テキスト	適宜資料を配布する。		
開講時期	前期	単位数・ 授業形態	1単位・講義
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちと共に生活する保育者として、さらに、生涯を通じて生き生きとした生活を営むひとりの人として、生活と体との関係を理解し、説明することができる。</li> <li>・子どもをとりまく生活環境と体との関係に関する知識を獲得し、子どもの“健康な体を育む”保育者の役割について自分なりの考えを述べるることができる。</li> </ul>		
授業の概要	<p>本授業は、“体を育む”といった観点で展開します。今日では、私たちの体や生活習慣に影響を及ぼすさまざまなもの・ことが身のまわりに溢れています。そして、私たちは往々にしてそれらの情報や価値観に影響を受けています。したがって本授業では、まずそのような情報を知ることから自分自身の体と生活を見つめ直し、そのうえで、“体を育む”視点から、自身の体と生活、さらに子どもと共にある保育者の役割について考えていきます。そのために、適宜グループでのディスカッションやワーク、知識の定着を問うテストも行います。。</p>		
授業計画	<p>第1回 「体育」の歴史と幼児期の運動遊びの重要性、生涯スポーツとは  第2回 生活と体の関係(1) 昨今の私たちの生活リズム、睡眠と健康について  第3回 生活と体の関係(2) 食の傾向、食を選択する力と健康について  第4回 生活と体の関係(3) スマートフォンによる生活の変化と心身への影響  第5回 授業内確認テストと振り返りワーク  第6回 グループワークⅠ(健康な体づくりのための「体育」プログラム作成)  第7回 グループワークⅡ  (健康な体づくりのための「体育」プログラム提案と意見交換)  第8回 まとめ、“体を育む”視点でのレポート作成</p>		
準備学習と必要時間	<p>毎回 60 分以上は、授業で取り扱われた内容について事例を調べ、自身の生活と体を見つめ直す時間を設けること。</p>		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業毎のレポート — 30%</li> <li>・テスト — 40%</li> <li>・まとめのレポート — 30%</li> </ul>		

参考文献	授業で適宜紹介、配布する。				
特記事項	なし				
課題へのフィードバック方法	授業毎のレポートに対して、授業冒頭で共有する。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状	必修	第 66 条の 6 に定める科目
	その他		保育士資格	必修	教養科目
教員の実務経験					